

「上京区基本計画2025」を策定

上京区では、令和3年度から5年間の区の将来像や目指すべき方向性を区民の皆様と行政が共有するための中期ビジョンである「上京区基本計画2025」を策定しました。本計画を広く知っていただくため、冊子を発行、区総合庁舎(2階②番窓口)で配架しています。



上京ふれあいネットカミングとは...

上京区内でまちづくりに取り組んでいる個人、団体、NPO等の情報、上京区内の地域情報及び行政等の情報を集約しそれを広く発信するWebサイト。

<http://www.kamigyoe.net>



上京 カミング

検索



Facebookでも配信中

FB

多くのレポーターが学びながらまちづくりに関わる方々やイベント等を取材しています。取材を通じて、人や思いがつながり、より良いまちになることを目指しています。普段はWeb発信が主になりますので、この1年間を振り返り本紙でその一部を紹介します。

カミングが大事にしていること

- 区民の方々と連携して、地域の魅力の再発見につながるような情報を提供すること。(取材の企画段階から、編集に携わる区民の方々と協議を重ねています。)
- 取材を通じてできたつながりを活用し、地域コミュニティの活性化を図ること。
- 上京に暮らす人が、まちづくりに関わりたくなるような記事・デザイン・メッセージを発信すること。

レポーター募集

一緒にカミングを盛り上げませんか?

毎月新たな取材先や希望などを調整しインタビュー、写真撮影、原稿作成など担当者を決め複数で取材しています。ご自身で興味のある内容を取材し、レポートすることも可能です。

取材依頼募集

こんな楽しい場所を見つけました!! こんな楽しいイベントやります!! など

自薦他薦は問いません。オススの人物、スポット、イベントなどをお寄せください。

お問合せ 上京区役所 地域力推進室 企画担当

TEL: (075) 441-5029 FAX: (075) 432-0566



京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

令和4年3月発行 京都市印刷物 第034942号
発行:京都市上京区役所 地域力推進室(企画担当)

上京ふれあいネット KAMING カミングゴ

令和3年度を振り返って

この1年間にカミングに掲載した記事の一覧です。

- I** イベントレポート/まちと人をつなぐイベントのレポート
- P** カミングパーソン/様々な分野で活躍する方の紹介
- S** カミングスポット/まちの注目スポットの紹介

つながり

- I** 私たちでまちをつくっていこう!~「上京区基本計画2025(案)」を使って「まちのアイデア出し」の会~
- S** 人とつながる出町榊形商店街~京都の暮らしが愛しくなる~
- I** 多世代がエコで繋がるまちづくり~オレンジガーデニングプロジェクト~
- P** “声”で地域をつなげよう~コミュニティFM放送局「FM87.0 RADIO MIX KYOTO」
- I** 子どもも大人もみんな一緒に、地域ぐるみでエコ活動~中立エコ生活推進会議
- P** 新しい出会いや価値を織りだす「オサノート」
- I** あたらしい「家族」のかたち シニアと学生をつなげる京都ソリデールの取り組みとは
- I** コミュニティカフェに行く、わたしらしさをそのままに
- I** 「せいしん」立売・コミュニティ彩マルシェ開催!
- P** 学生目線での地域連携・ボランティア活動支援とは~同志社大学ボランティア支援室学生スタッフARCO(アルコ)

伝統・文化

- I** 上京暮らしの文化プロジェクト
「端午の節句」「七夕の節句」「重陽の節句」「上巳の節句」
- P** 伝統と革新~有職京人形司 大橋式峰さんの人形づくりへの想い
- P** 新しいかたちで「伝統」を守る 京和傘老舗、日吉屋の挑戦
- P** 妥協のない姿勢でものづくりに向き合う京友禅染織作家 南進一郎さん

挑戦

- I** 地域企業と大学生連携の新たな可能性に期待-行政もサポート
- P** まちに生きるデザインの役割-GK京都
- P** 障害者が西陣織の技術を受け継ぎ、働きがいのある社会をつくる~西陣整経同業組合
- I** 地域を活気づけるかまぼこ屋さんの夢「太閤献上プロジェクト」

カミングムービー

- 京の五節句と年中行事「端午の節句」
- 歴史シンポジウム
「応仁の乱後の御所文化~上の町と御所~」
(応仁の乱東陣プロジェクト実行委員会)



Webサイトで掲載した内容を一部お届けします

Take Free

上京ふれあいネット KAMING カミングゴ プラス

◎カミングレポート特集

つながり

- 私たちでまちをつくっていこう!
~「上京区基本計画2025(案)」を使って「まちのアイデア出し」の会~
- 人とつながる出町榊形商店街~京都の暮らしが愛しくなる~
- 多世代がエコで繋がるまちづくり~オレンジガーデニングプロジェクト~
- “声”で地域をつなげよう~コミュニティFM放送局「FM87.0 RADIO MIX KYOTO」
- 子どもも大人もみんな一緒に、地域ぐるみでエコ活動~中立エコ生活推進会議
- 新しい出会いや価値を織りだす「オサノート」
- あたらしい「家族」のかたち シニアと学生をつなげる京都ソリデールの取り組みとは
- コミュニティカフェに行く、わたしらしさをそのままに
- 「せいしん」立売・コミュニティ彩マルシェ開催!
- 学生目線での地域連携・ボランティア活動支援とは~同志社大学ボランティア支援室学生スタッフARCO(アルコ)

伝統・文化

- 上京暮らしの文化プロジェクト
「端午の節句」「七夕の節句」「重陽の節句」「上巳の節句」
- 歴史シンポジウム「応仁の乱後の御所文化~上の町と御所~」開催動画配信
- 伝統と革新~有職京人形司 大橋式峰さんの人形づくりへの想い
- 新しいかたちで「伝統」を守る 京和傘老舗、日吉屋の挑戦
- 妥協のない姿勢でものづくりに向き合う京友禅染織作家 南進一郎さん

挑戦

- 地域企業と大学生連携の新たな可能性に期待-行政もサポート
- まちに生きるデザインの役割-GK京都
- 障害者が西陣織の技術を受け継ぎ、働きがいのある社会をつくる~西陣整経同業組合
- 地域を活気づけるかまぼこ屋さんの夢「太閤献上プロジェクト」

◎カミングとは.../レポーター及び取材依頼募集



つながり

「誰一人取り残さない」持続可能なまちづくりを目指し、地域や団体の思いが詰まった様々な取組が展開されています。

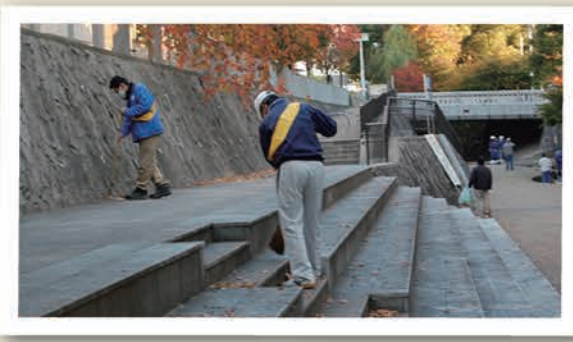
多世代がエコで繋がるまちづくり ～オレンジガーデニングプロジェクト～



多世代がエコで繋がるまちづくりに取り組む同志社大学政策学部小谷ゼミでは、「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで作って行こう!」という思いに共感し、9月のアルツハイマー月間に、認知症のシンボルカラーであるオレンジの花を咲かせるオレンジガーデニングプロジェクトに参加されました。花壇の土づくりから始め、子どもたちの環境意識を育む教室を開催し、敬老の贈り物としてあづま袋を製作するなど、地域の環をつなげ、オレンジの花を咲かせました。



子どもも大人もみんな一緒に、地域ぐるみで エコ活動～中立エコ生活推進会議



中立エコ生活推進会議では、定期的な堀川の清掃活動をはじめ、堀川の歴史や、堀川で育つ虫などの生き物について小学生に伝える取組が行われています。また、堀川で集めた落ち葉で堆肥を作り、学校菜園やグリーンカーテンで活用することで、小学生に環境問題への気付きや学びの場を提供されています。今後も、身近にある豊かな自然環境を次世代につなげるため、地域ぐるみでエコ活動に取り組まれます。



「せいしん」立売・ コミュニティ彩マルシェ開催!



上立売、中立売、下立売という通りの由来といわれている、かつて区内で行われていた、店を構えずに立ちながら販売する「立売(たちうり)」にならない、正親住民福祉協議会が主体となって「せいしん」立売・コミュニティ彩マルシェが開催されました。京北産の旬野菜やホクホクの焼き芋等が並ぶマルシェを通じて、地産地消の推進や地域住民が繋がる心温まる交流の場となりました。



挑戦

それぞれが持つ力や経験等を生かし、社会や地域における課題解決に挑む取組が、数多く生まれています。

地域企業と大学生連携の新たな可能性に期待-行政もサポート



京都中小企業家同友会(上京支部)、同志社大学及び上京区役所が連携し、持続可能なまちづくりや地域企業の活性化につなげていくことを目的に実施された、「地域企業と大学生による地域課題解決プロジェクト」の成果報告会が開催されました。成果報告会では、大学生ならではの発想や視点を生かしながら、約半年間、地域企業と大学生が商品開発などに取り組んだ成果が報告されました。

成果報告会では、大学生ならではの発想や視点を生かしながら、約半年間、地域企業と大学生が商品開発などに取り組んだ成果が報告されました。



まちに生きるデザインの役割-GK京都

広告パネル付きバスシェルターや御池通シンボルロードの再整備など、幅広いデザイン事業を展開するGK京都の取組を取材させていただきました。とりわけ、京都のまちづくりにおける環境デザイン、防災におけるデザインについて、代表取締役社長の榎本信之様にお話を伺いました。これからのまちの景観や防災に対して、誰にとってもわかりやすく、地域それぞれにあったデザインを提供することが大事といったお話をお伺いしました。

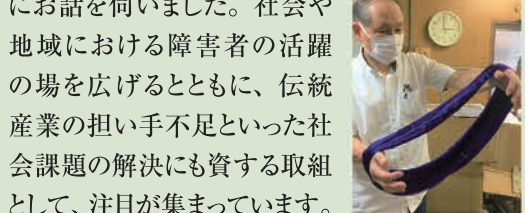


役社長の榎本信之様にお話を伺いました。これからのまちの景観や防災に対して、誰にとってもわかりやすく、地域それぞれにあったデザインを提供することが大事といったお話をお伺いしました。

障害者が西陣織の技術を受け継ぎ、働きがいのある社会をつくる～西陣整経同業組合



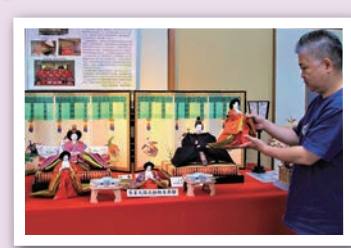
障害者が自身の能力を発揮し、伝統産業の担い手として社会に貢献する「伝福連携」。伝福連携を進めている西陣整経同業組合の渡部勝吾副理事長と河合隆理事にお話を伺いました。社会や地域における障害者の活躍の場を広げるとともに、伝統産業の担い手不足といった社会課題の解決にも資する取組として、注目が集まっています。



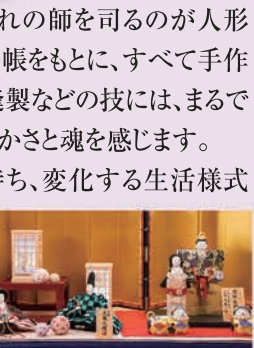
伝統・文化

上京区には、歴史文化の厚み、奥行き、先人の知恵があります。そうした上京の魅力を、未来へと繋ぐ数々の取組を紹介しています。

伝統と革新—有職京人形司 大橋弼峰さんの人形づくりへの想い



優雅で格調高い、京人形を制作する大橋弼峰三代目、大橋義之さん取材しました。人形制作は分業です。頭師、髪付師、手足師、小道具師、それぞれの師を司るのが人形司の役割です。代々伝わる寸法帳をもとに、すべて手作業で制作。微妙な手の角度や縫製などの技には、まるで本当の人が着た時のような柔らかさと魂を感じます。伝統を守り伝える強い思いを持ち、変化する生活様式にも柔軟に 대응されています。技術とセンスを生かした発想と発信で文化を後世に伝えています。



上京暮らしの文化プロジェクト 京の五節句と年中行事「重陽の節句」



五節句のうちのひとつ「重陽(ちょうよう)の節句」展が開催されました。古来、陽(奇数)が重なると陰が生ずるとされ、節句の日には邪気祓いの行事が行われてきました。「重陽の節句」は「菊の節句」とも呼ばれることから、溢れる菊の香りで、来庁者の無病息災、健康長寿をお祈りしました。展示に当たっては、西陣織、人形、いけばななどの分野で活躍されている多くの上京区の方々の御協力もいただきながら、訪れる方々に季節を感じていただくことができました。

新しいかたちで「伝統」を守る 京和傘老舗、日吉屋の挑戦

160年以上の伝統を誇る京和傘の日吉屋では、和傘を作るだけでなく、時代に合わせた変化・発展による伝統技術の継承、様々な伝統工芸のコーディネートにも尽力されています。伝統ある和傘の技術を活かしながら京和傘を身近に感じてもらうため、京和傘から発想を得たデザイン照明の開発等に取り組まれています。

